

MACF 礼拝説教要旨

2025 年 9 月 7 日

「神はノアと共に」

創世記 7-8 章

7 章

「さあ、あなたとあなたの家族は皆、箱舟に入りなさい。この世代の中であなただけはわたしに従う人だと、わたしは認めている。

2 あなたは清い動物をすべて七つがいずつ取り、また、清くない動物をすべて一つがいずつ取りなさい。3 空の鳥も七つがい取りなさい。全地の面に子孫が生き続けるように。

4 七日の後、わたしは四十日四十夜地上に雨を降らせ、わたしが造ったすべての生き物を地の面からぬぐい去ることにした。」

5 ノアは、すべて主が命じられたとおりにした。

6 ノアが六百歳のとき、洪水が地上に起こり、水が地の上にみなぎった。

7 ノアは妻子や嫁たちと共に洪水を免れようと箱舟に入った。

* *

15 命の霊をもつ肉なるものは、二つずつノアのもとに来て箱舟に入った。

16 神が命じられたとおりに、すべて肉なるものの雄と雌とが来た。

主は、ノアの後ろで戸を閉ざされた

* *

24 水は百五十日の間、地上で勢いを失わなかった。

8 章

1 神は、ノアと彼と共に箱舟にいたすべての獣とすべての家畜を御心に留め、地の上に風を吹かせられたので、水が減り始めた。

* *

13 ノアが六百一歳のとき、最初の月の一日に、地上の水は乾いた。ノアは箱舟の覆いを取り外して眺めた。見よ、地の面は乾いていた。

14 第二の月の二十七日になると、地はすっかり乾いた。

15 神はノアに仰せになった。

16 「さあ、あなたもあなたの妻も、息子も嫁も、皆一緒に箱舟から出なさい。

17 すべて肉なるもののうちからあなたのもとに来たすべての動物、鳥も家畜も地を這うものも一緒に連れ出し、地に群がり、地上で子を産み、増えるようにしなさい。」

18 そこで、ノアは息子や妻や嫁と共に外へ出た。

19 獣、這うもの、鳥、地に群がるもの、それぞれすべて箱舟から出た。

20 ノアは主のために祭壇を築いた。そしてすべての清い家畜と清い鳥のうちから取り、焼き尽くす献げ物として祭壇の上にささげた。

21 主は宥めの香りをかいで、御心に言われた。

「人に対して大地を呪うことは二度とすまい。人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ。わたしは、この度したように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい。

22 地の続くかぎり、種蒔きも刈り入れも

寒さも暑さも、夏も冬も
昼も夜も、やむことはない。」

* * * *

ノアの方舟の出来事の流れが創世記 7 章、8 章には書かれています。
そして、その全体に流れている思想は「神に従う人」と「神の主権」です。
つまり、神様は最初から最後までしっかり計画し、それを実行し、それに従った人の命を守り抜かれたということです。つまり、ノアは「神と共に歩んだ人」でしたが
全く同じように、神もノアとともに歩まれたのです。寄り添う神の心が見えてきます。
流れを見ていきましょう。

* ノアが 600 歳の時方舟に入り、洪水が起こる。40 日 40 夜。
40 という数字は「苦難」を意味する数字であり、神が最終的には助け出して
くださる苦難の日々、または年。イスラエルの民の 40 年の放浪・イエス様の試練など。

* 洪水の始まる直前、方舟の扉を開めたのは神ご自身。ノアが人々の乗船を
拒否したわけではなく、神様がそのタイムリミットを決めておられた。
7 章 16 節: 神が命じられたとおりに、すべて肉なるものの雄と雌とが来た。
主は、ノアの後ろで戸を閉ざされた

* 増水は 150 日経っても収まらず、箱舟からは外が見えないのでその心境は複雑だったに違いない。
ところが 8 章 1 節には「神は、ノアと彼と共に箱舟にいたすべての獣とすべての家畜を御心に留め、
地の上に風を吹かせられたので、水が減り始めた。」とあるのです。
神は箱舟に乗っている彼らを忘れず、心に留めておられる！
寄り添う神の心がここに見えています。ノアたちはそれほど気づかなかったかもしれませんが、間違いなく神は彼らを忘れず、見捨てず、見放さず、ケアしておられます。

* 約一年後、箱舟から降りて、ノアは神への祭壇を築き、礼拝する。
これは当然のこととして書かれています。新しいことの出発は礼拝の心の更新から始まります。

* 神の地上への契約更新:
「人に対して大地を呪うことは二度とすまい。人が心に思うことは、
幼いときから悪いのだ。わたしは、この度したように生き物をことごとく打つことは、
二度とすまい。
22 地の続くかぎり、種蒔きも刈り入れも
寒さも暑さも、夏も冬も
昼も夜も、やむことはない。」

* * * *

MACF 礼拝映像はこちらです
<https://youtu.be/GMnFt6B5NB4>